




報道発表資料の配付日時 6月28日(金) 15時00分

発表項目 (行事名)	 ほっかいどう未来チャレンジ基金 「みらチャレ通信」Vol. 21の発行について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
概 要	<p>未来や世界を見据え、チャレンジ精神にあふれ、優れた能力を持つ若者達の海外挑戦を応援するため、平成28年12月に創設した「ほっかいどう未来チャレンジ基金」。この基金により海外に留学した方々の活動状況などをお伝えする月刊紙「みらチャレ通信」Vol. 21を発行しました。</p> <p>■掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3期生の紹介 ・留学生達の活動報告 <p>〔 学生留学コース：伊藤さん、立岩さん、林さん、星野さん スポーツコース：梅村さん、田中さん 文化芸術コース：鴻野さん 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ラブラブサンド&富良野オムカレーコラボ商品」でみらチャレを応援！ <p>■主な配布先 応援パートナー（企業、団体等）、道内大学等 ※基金ホームページにも掲載しています。</p> <p>■発行時期 毎月下旬</p>		
参 考	ほっかいどう未来チャレンジ基金 公式Facebook「みらチャレ」 https://m.facebook.com/mirachalle/ 助成対象者の海外での活動状況等を随時掲載しています。  		
報道（取材） に当たって のお願い	助成対象者の海外留学の状況を情報発信することにより、道内の若者の海外挑戦に向けた機運醸成と、寄附などオール北海道での応援体制の構築を図っていきたくので、積極的な報道にご協力よろしくお願ひします。		
他のクラブ との関係	同時配付 (場所) 同時レク		
担 当 (連絡先)	総合政策部政策局総合教育推進室 永田 電話：ダイヤルイン 011-206-7380 (内線 23-109)		

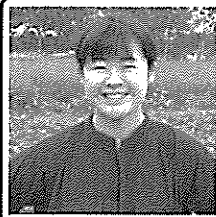


北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を、官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の旬な情報をお届けします! 6月末時点で、第2期生は4名が帰国し、5名が海外留学中です!

今年度海外に挑戦する第3期生7名を決定しました!

今年度新たに海外挑戦する第3期生について、厳正な審査の結果、次の7名に決定しました。これからそれぞれのテーマで海外へチャレンジする若者たちへの応援をよろしくお祈りします!

【学生留学コース】



石垣 のぞみ

○テーマ 本道農業の魅力を発信するため、環境立国ドイツで有機農業を学ぶ
○留学先 ドイツ
○留学期間 2019年10月～ 11か月間
○留学目的 有機農家の元で持続可能な農業のあり方とグリーンツーリズムについて学ぶ



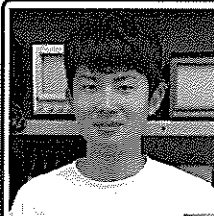
有働 篤人

○テーマ 札幌を世界のデジタル観光都市にするため、ソフトウェア開発を学ぶ
○留学先 フィンランド
○留学期間 2019年9月～ 9か月間
○留学目的 北海道経済を支えるような新たなゲームコンテンツ産業を創出するため、先進的なゲーム制作を学ぶ



海辺 菜々美

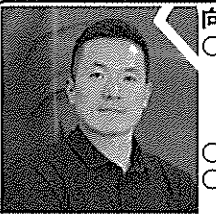
○テーマ 北海道の地域資源を活かした観光振興のため、アドベンチャーツーリズムを学ぶ
○留学先 アメリカ
○留学期間 2019年9月～ 6か月間
○留学目的 需要側ニーズと供給側の意識のギャップに注視しながら、アドベンチャーツーリズムの調査・研究を行う



立花 洋太郎

○テーマ ものづくり産業の人材育成のため、ICTを活用したものづくり教育を学ぶ
○留学先 ノルウェー
○留学期間 2019年8月～ 6か月間
○留学目的 ものづくり職業教育を取り入れている学校を視察し、職業観の育成についての日本との違いを学ぶ

【スポーツコース】



向井原 洋平

○テーマ 最新のスポーツ医学の知識、最先端の治療・リハビリ技術を学ぶ
○留学先 アメリカ
○留学期間 2019年7月～ 12か月間
○留学目的 アスリートトレーナーとして科学的研究に基づいた知識を深め、プロ・学生アスリートへの実務経験を積み、北海道のスポーツ界に知識と技術を還元する

【文化芸術コース】



清水 柚衣

○テーマ リト音楽院のディグリープログラムへの参加
○留学先 ハンガリー
○留学期間 2019年9月～ 10か月間
○留学目的 演奏活動を通して音楽に溢れた北海道を創り、後進の育成や北海道の音楽環境・レベル向上のため、世界的に有名なピアニストのレッスンを受講する

【未来の匠コース】



鹿野 皓己

○テーマ 北海道ブランドのワインを確立するため、ドイツで醸造技術を学ぶ
○留学先 ドイツ
○留学期間 2019年9月～ 6か月間
○留学目的 道産ワインを世界に流通するブランドとして確立させ、北海道をワインの銘醸地にするを旨とし、ドイツでワイン醸造の最先端技術を学ぶ

留学生たちの活動状況

学生留学コース

第2期生 伊藤 昂 さん ～スポーツビジネスを学び、北海道のテニス界の国際化に貢献～

テニスの国際大会が開催されるアメリカ、オーストラリア、オランダの3か国に、10月から10か月間留学中

オランダでは、テニスは2番目に競技人口の多いスポーツで、子供から大人まで3万人以上がチームに所属しており、1年を通じて団体戦を行っています。テニス初心者の子供を対象にした大会の企画を任せられ、対戦の組合せやコートの進行などに取組み、**親が子供や試合のサポートを行うオーストラリアで学んだシステムをここでも活かし、スムーズに運営できました。**



第2期生 立岩 文武 さん ～大規模農業の手法を学び、北海道農業の持続を目指す～

大規模農業が進んだオーストラリアタスマニア州に、9月から10か月間留学中

授業でオーストラリア農業が抱える水不足の問題について取り扱いました。乾燥による水不足が深刻であり、それを補うため塩分が高い大量の地下水を使い、土壌中の塩分濃度が上昇する塩害が問題になっています。日本は相当量の小麦をオーストラリアから輸入していますが、**塩害が進むと小麦を輸入できなくなり、その対策も考える必要があります。**



第2期生 林 泰佑 さん ～木造建築技術を学び、海外との架け橋となる建築家を目指す～

森林環境が北海道と似たフィンランドで、9月から1年間、アアルト大学のウッドプログラムを受講

材料の到着遅れにより5月中の完成には至らず7月初旬のオープニングセレモニーに向け作業を続けています。屋根のモックアップ(実物大模型)作成を担当し、部材の切出しから組立までの作業を他の担当と協力して行いました。デザインして図面を書くだけでなく、それをどう実現させるかまで考える経験は、確実に今後の設計作業に生きてくると感じています。**建築は、様々な人が関わって成り立っていることを改めて実感しています。**



第2期生 星野 愛花里さん ～種子生産やその輸出入を学び、北海道農業との連携を目指す～

種子ビジネスの発展が期待されるキルギスに、12月から1年間留学中

農作業が本格的に始まり、畑にジャガイモや大麦等の種子をまく作業を行いました。機器等がそろっていないので、手作業が多く、北海道並みの広大な畑での長時間作業は体に負担がかかりました。キルギスでも経済発展とともにインフレが進み、農業よりも出稼ぎで生活を成り立たせているのが現状で、人手不足の問題が出ています。



スポーツコース

第2期生 梅村 拓未さん

～バルシューレを学び、子どもの運動課題を解決～

バルシューレの創設元ドイツ・ハイデルベルク大学で、7月から11か月間研修中

サッカーを主にしたサッカー・バルシューレ(小学1・2年生対象)では、ドリブルでボールを運んで4つあるゴールのどれかにシュートするというメニューを行いました。ゴールには違う色のコーンが立てられ、指導者が4色のうちどれかを指定し、その色のゴールにシュートします。このルールによって、**認知、判断、決断、実行力が養われています。**こうした能力は、子供たちのボールを扱う技術や戦術などと同様に重要なものです。帰国後、その知見を活かしていきたいと思えます。



第2期生 田中 怜恵子さん

～本場でラグビーを学び、道内女子ラグビーの発展に貢献～

ラグビーの本場ニュージーランドで、3月から6か月間、指導者と選手双方の立場からラグビープログラムに参加

トレーニングのプログラミングについて学んでいます。選手は練習前に準備運動を済ませることで、自主性と積極性を養っています。練習の開始時にその日の練習のキーポイントを指導者と選手間で確認し、理解した上で練習を進めていきます。各練習を速いテンポでこなし、ポイントを確認し合う際は、必ず集合してフィードバックを行います。都度キーポイントを確認することで、**選手が自身の成長に気づき、更に上を目指せる練習環境を作ることができると感じました。**



文化芸術コース

第2期生 鴻野 祐さん ～「木」を深く学び、デザイナーとしてまちづくりに貢献～

森林環境が北海道と似たフィンランドで、7月から1年間、現地リサーチとアアルト大学のウッドプログラムを受講

ウッドプログラムでは駅待合室の実物の製作、建設が始まり、複雑な構造で精度も求められるので、ミスやケガに気を付け、製作を始めました。材料の加工では、日本から持参したノコギリで加工するなど、**日本での家具デザインの経験が活かされました。**最後まで悔いの無いよう、素晴らしい経験や知識を持ち帰れるように精進していきます。



「ラブラブサンド&富良野オムカレーコラボ商品」でみらチャレを応援!

日糧製パン(株)様のご協力により、主力商品「ラブラブサンド」シリーズ全品及び富良野オムカレーコラボ商品の販売1個につき0.5円を、「ほっかいどう未来チャレンジ」基金に寄附していただきます。



【対象期間：2019年7月1日～8月31日】※本取組は2020年1月～2月にも実施を予定しています。

応援パートナーの皆様

(2019年6月現在・敬称略)

有末 真哉 石川 諭史 遠藤 光二 小黒 敬三 佐藤 友昭 (税理士法人FULL SUPPORT 代表社員税理士) 鈴木 伸明 武田 孝 (拓殖工業(株)代表取締役会長) 船津 秀樹 その他匿名希望の個人・企業 5者

北海道総合政策部政策局総合教育推進室

TEL: 011-206-7380 (直通) FAX: 011-232-6313

E-mail: mirai_jinzai@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ: <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sky/mirai-jinzai.htm>



公式 Facebook ページ
みらチャレ

助成対象者のチャレンジ風景をお届けします。

